

FUJITSU

shaping tomorrow with you

ビジネスの変化に スピーディに対応する SPARC M10

2014年2月

第1版

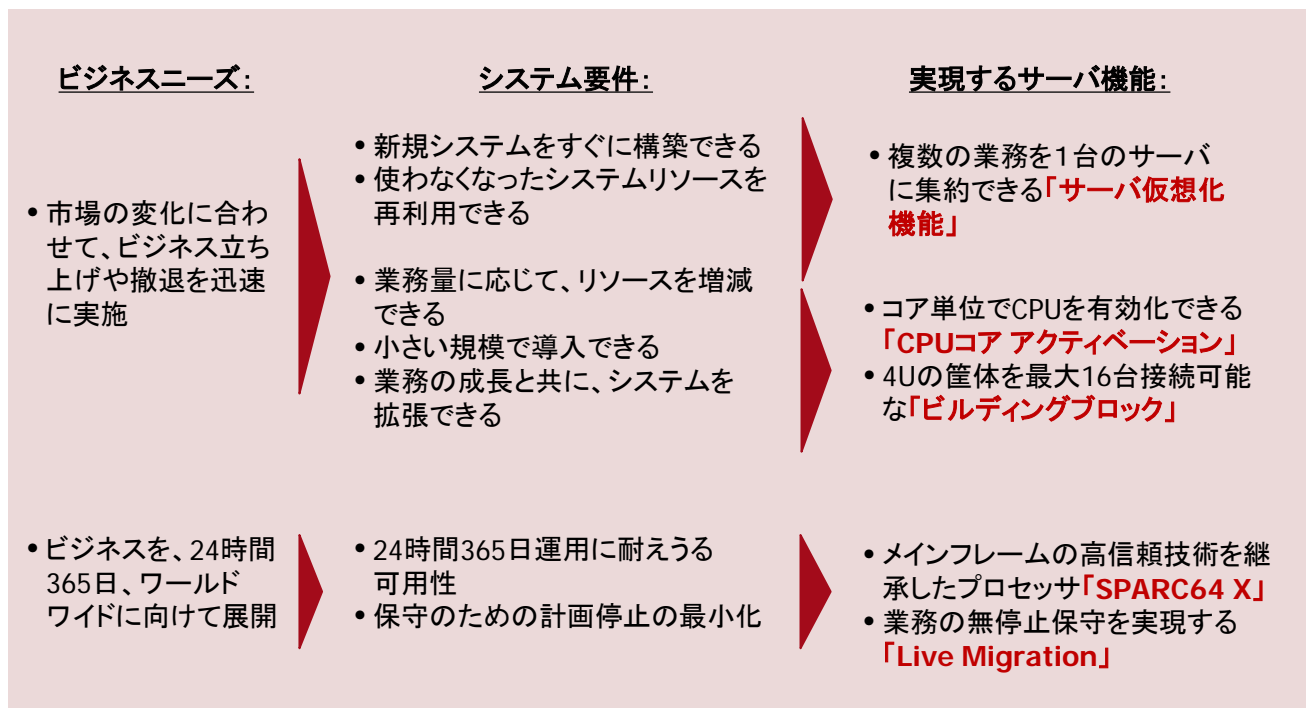
富士通株式会社

■ ビジネスの変化にスピーディに対応するSPARC M10

通信ネットワークの進化と共に、ネットショッピングの発展による購買行動の変化、ソーシャルネットワークによる人と人との新しいつながり、インターネット電話を使用した世界中の人とのFace to Faceコミュニケーションなど、私たちの生活を取り巻く環境は大きく変化しています。

そのような環境において企業が競争力を維持・強化するためには、変化に対してビジネスを迅速かつ柔軟に対応・展開していく必要があります。スピーディな時代のビジネスには、スピーディに対応できるITシステムとのコラボレーションは不可欠です。

変化にスピーディに対応するためには、どのようなシステム要件がICTに必要でしょうか。

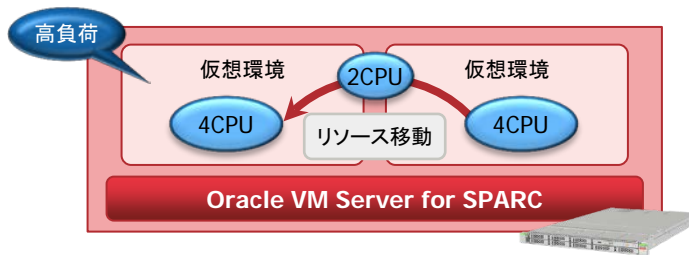


SPARC M10は、基本理念である信頼性を確実に継承しながら時代の変化に対応できる、成長型サーバです。本ドキュメントではSPARC M10の特長を生かした運用例についてご紹介します。

1. 業務量の変化に迅速に対応

■ サーバ内のリソース有効活用

SPARC M10は、業務を稼働させた状態でも仮想環境にCPU、メモリ、仮想ネットワークや仮想ディスクなどを追加・削除することができます。それにより、ある仮想環境の処理量が増えて高負荷になったときに、他の仮想環境の一部のリソースを利用することができます。

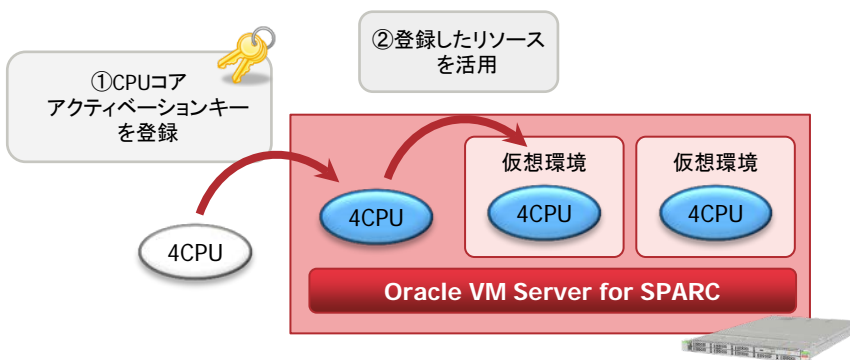


■ 業務の成長に合わせてシステムを拡張

SPARC M10はCPUコアの使用権を購入して登録すると、登録した数のCPUコアを使用できるようになります。この機能をCPUコア アクティベーションと呼びます。本機能は業務を動かしたままCPUコア アクティベーションキーを登録・削除することができるので、必要に応じていつでもCPUコアを増減させることができます。

システム導入時は必要最小限のコアアクティベーションを購入して、業務の成長に合わせて徐々にコア数を増やすことで、無駄のないきめ細やかなサイジングが可能です。

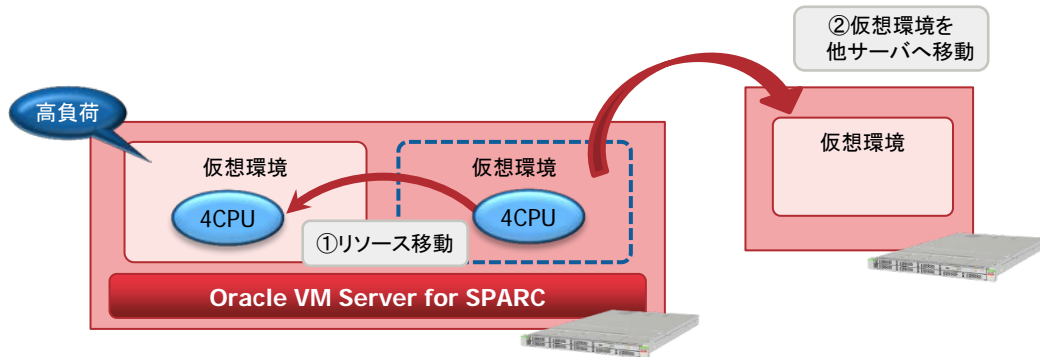
また、CPU コアを追加して新たな仮想環境を作成するだけで、簡単に新規システムを構築することができるので、ビジネスの変化にもスピーディに対応できます。



■ Live Migrationを利用したリソース活用

SPARC M10は、業務を動かしたまま仮想環境を他のサーバへ移動できる「Live Migration機能」を提供します。

複数の仮想環境が稼働している環境においてリソース不足が発生した場合、ある仮想環境をLive Migrationを利用して別のサーバに移動させることで、空いたリソースを有効活用することができます。

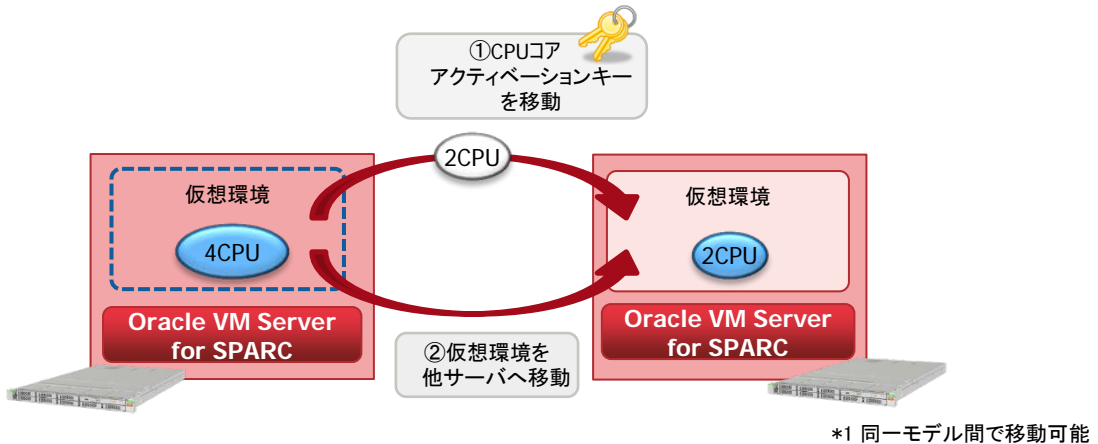


2. 業務を止めないサーバ運用

■ システム全体のCPUリソース有効活用

SPARC M10では、業務を止めずにCPUコア アクティベーションキーを削除して、別のSPARC M10に再登録して使用することができます*1。

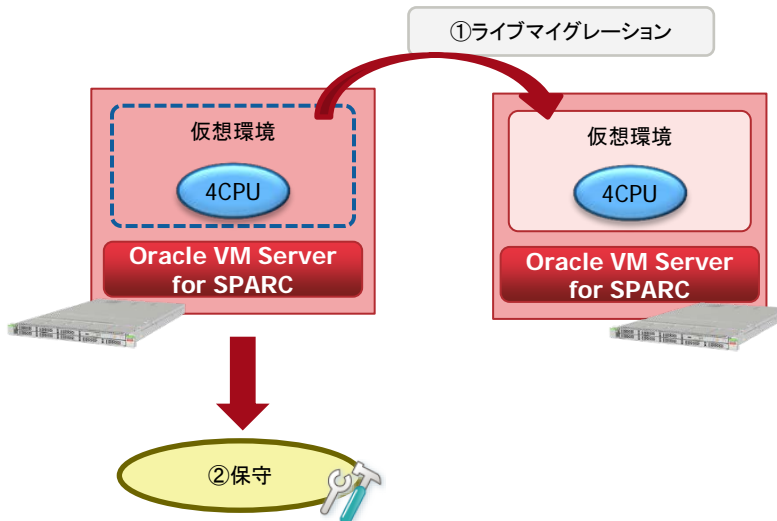
そのため、仮想環境とCPUコア アクティベーションキーと一緒に別のSPARC M10へ移動させる運用も可能です。Live Migration先のCPUコア アクティベーションを余分に用意する必要がなく、サーバ単体ではなくシステム全体でのリソース活用最適化を実現します。



■ 業務システムを止めずにサーバ保守

Live Migration機能を利用して、業務システムを停止させずにサーバの保守を行うこともできます。

保守をしたいSPARC M10のすべての仮想環境を別のSPARC M10に移動させて、業務システムが動いていない状態にします。サーバを停止させて保守部品の交換などの保守作業を行う間、業務システムは別のSPARC M10で稼働し続けることができるので、サーバ保守のための業務の計画停止ゼロを実現します。



■ 著作権・商標権・その他の知的財産権について

- コンテンツ(文書・画像・音声等)は、著作権・商標権・その他の知的財産権で保護されています。
本コンテンツは、個人的に使用する範囲でプリントアウトまたはダウンロードできます。ただし、これ以外の利用(ご自分のページへの再利用や他のサーバへのアップロード等)については、当社または権利者の許諾が必要となります。

■ 保証の制限

- 本コンテンツについて、当社は、その正確性、商品性、ご利用目的への適合性等に関して保証するものではなく、そのご利用により生じた損害について、当社は法律上のいかなる責任も負いかねます。本コンテンツは、予告なく変更・廃止されることがあります。

■ 商標について

- UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。
- SPARC Enterprise、SPARC64、SPARC64ロゴおよびすべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc.のライセンスを受けて使用している、同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です

FUJITSU

shaping tomorrow with you